

上場会社名 GMOインターネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9449 URL http://gmo.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼 (氏名)熊谷 正寿
 社長グループ代表
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)安田 昌史 (TEL)03(5456)2555
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成25年9月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	46,683	29.8	5,865	17.0	5,881	18.1	2,396	26.6
24年12月期第2四半期	35,965	21.9	5,011	25.2	4,981	32.8	1,892	△4.5

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 3,847百万円(52.2%) 24年12月期第2四半期2,528百万円(△22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年12月期第2四半期	円 銭 20 34	円 銭 20 09
24年12月期第2四半期	16 06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年12月期第2四半期	百万円 363,002	百万円 33,042	% 6.3
24年12月期	275,960	30,418	7.6

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 22,802百万円 24年12月期 21,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	円 銭 3 00	円 銭 3 00	円 銭 3 00	円 銭 4 00	円 銭 13 00
25年12月期	3 00	3 00			
25年12月期(予想)			4 00	4 00	14 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 83,000	% 11.6	百万円 10,500	% 14.8	百万円 10,500	% 14.4	百万円 4,800	% 6.2	円 銭 40 74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	117,806,777株	24年12月期	117,806,777株
25年12月期2Q	1,721株	24年12月期	1,684株
25年12月期2Q	117,805,091株	24年12月期2Q	117,805,093株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成25年8月1日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	8
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	9
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
3. 四半期連結財務諸表	11
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(4) 継続企業の前提に関する注記	16
(5) セグメント情報等	16
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<事業全般の概況>

当社グループは「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、成長性の高いインターネット市場に経営資源を集中しております。当該市場は、スマートフォンやタブレット型多機能端末の普及、クラウド技術の進歩により、モバイルインターネットを中心に順調に発展しております。当該市場の拡大を受け、当社グループの収益機会も拡大しているものと考えております。

このような環境の中、当連結会計年度における当社グループは、①WEBインフラ・EC事業、②インターネットメディア事業および③インターネット証券事業の継続的な成長を目指し、ナンバーワンのサービスを提供することで顧客基盤の拡大に積極的に取り組んでまいりました。さらに、高い成長が見込まれるスマートフォン向けのゲーム事業を4本目の事業の柱とすべく、積極的な投資を行なってまいりました。

以上、当第2四半期連結累計期間における売上高は46,683百万円（前年同期比29.8%増）、営業利益は5,865百万円（同17.0%増）、経常利益は5,881百万円（同18.1%増）、当期利益は2,396百万円（同26.6%増）となり、いずれも過去最高の業績となっております。

<当第2四半期累計（平成25年1月～6月）連結業績の概要>

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	35,965	46,683	10,718	29.8%
営業利益	5,011	5,865	853	17.0%
経常利益	4,981	5,881	899	18.1%
四半期純利益	1,892	2,396	503	26.6%

<当第2四半期累計（平成25年1月～6月）セグメント毎の売上高・営業利益の状況>

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
WEBインフラ・EC事業				
売上高	14,327	18,488	4,160	29.0%
営業利益	2,124	2,645	520	24.5%
インターネットメディア事業				
売上高	12,925	15,093	2,167	16.8%
営業利益	1,106	1,253	147	13.3%
インターネット証券事業				
売上高	8,251	11,214	2,963	35.9%
営業利益	2,681	2,424	△257	△9.6%
ソーシャル・スマートフォン関連事業				
売上高	1,351	2,885	1,533	113.4%
営業利益	△956	△573	382	-
インキュベーション事業				
売上高	41	83	42	101.1%
営業利益	△53	9	63	-
調整額				
売上高	△933	△1,081	△148	-
営業利益	109	106	△3	-
合計				
売上高	35,965	46,683	10,718	29.8%
営業利益	5,011	5,865	853	17.0%

各セグメントの事業の内容は、以下のとおりとなっております。

事業区分	主要業務	
WEBインフラ・EC事業	ドメイン取得事業	・『お名前.com』、『ムームードメイン』、『VALUE-DOMAIN.COM』などで展開する「.com」「.net」「.jp」などのドメイン取得事業
	レンタルサーバー事業	・『お名前.comレンタルサーバー』、『GMOアプリクラウド』、『ラビッドサイト』、『GMO Cloud』、『IQcloud』、『ロリポップ!』、『hetem1』、『Sqale』などで展開する専用サーバー、共用サーバー、VPS、クラウドの提供・運用・管理・保守を行うホスティングサービス
	EC支援事業	・『カラーミーショップ』、『MakeShop』、『Jugem Cart』などネットショップ構築のASPサービス ・『カラメル』などショッピングモールの開発・運営 ・Web制作・運営支援・システムコンサルティングサービス
	セキュリティ事業	・『クイック認証SSL』、『企業認証SSL』などのSSLサーバー証明書、『コードサイン証明書』、『PDF文書署名用証明書』、『クライアント証明書』などの電子証明書発行サービス
	決済事業	・通販・EC事業者向け『PGマルチペイメントサービス』、自治体向け『公金クレジットカード決済サービス』、スマートフォン向け『ソーシャルアプリ決済サービス』
	アクセス事業	・『GMOとくとくBB』、『interQ MEMBERS』、『ZERO』などのインターネット接続サービス
インターネットメディア事業	インターネットメディア・検索関連事業	・ブログサービス（『ヤプログ!』、『JUGEM』等）やインターネットコミュニティサービス（『freem1』等）、電子書籍作成『ブグログ』、販売支援『パプー』などのインターネットメディアの開発、運営 ・SEMメディア事業 日本語キーワード『JWord』の運営・販売、SEOの販売 ・アドネットワーク事業 自社メディアへのコンテンツ連動広告、検索連動型広告の配信
	広告代理事業	・インターネット広告・モバイル広告、検索連動型広告、成果報酬型広告等の販売 ・企画広告制作サービス
	その他	・インターネットリサーチシステムの提供・リサーチモニターの管理・運営『infoQ ネットワークパネル』など
インターネット証券事業	インターネット証券事業	・オンライン証券取引、外国為替証拠金取引サービス等の運営
ソーシャル・スマートフォン関連事業	スマートフォンゲーム事業	・ソーシャルアプリ開発・運営の支援 ・スマートフォン向けのゲームアプリマーケットである『Gゲー』の展開
	くまポン事業	・共同購入型クーポンサイト『くまポン』の運営
インキュベーション事業	ベンチャーキャピタル事業	・インターネット関連企業を中心とした未上場会社への投資事業

各セグメントにおける業績は次のとおりです。

① WEBインフラ・EC事業

当該セグメントにおいては、インターネットビジネスを手掛けるお客様のビジネス基盤となるサービスを提供しております。インターネットにおける住所となる「ドメイン」、データを保管するための「サーバー」、ネットショップ導入のためのシステムを提供する「EC支援」、電子商取引をはじめとした「決済」、これら取引の安全を図る「セキュリティ」などの事業です。これら5大商材全てを当社グループにおいて開発・提供しており、いずれも国内トップシェアを有しております。当該セグメント

の主な事業別の業績は下記のとおりです。

1) ドメイン取得事業

当該事業では、顧客基盤の拡大を継続しております。当第2四半期連結累計期間のドメイン登録・更新数は187万件（前年同期比8.6%増）、管理累計ドメイン数は392万件（前年同期比17.2%増）となり、国内シェア90.5%と圧倒的ナンバーワンとなっております。これらの結果、売上高は2,323百万円（前年同期比8.7%増）となっております。

2) レンタルサーバー事業

当該事業では、お客様の利用ニーズの高度化・多様化に対応するため、専用サーバー、共用サーバー、VPS、クラウドの各サービスにおいて、多ブランド展開を行っております。

中でも、ソーシャルゲームの開発・運営支援に特化したクラウドサービス『GMOアプリクラウド』は、スマートフォンの普及によるモバイルゲーム市場の拡大もあり、引き続きゲーム開発企業の支持を頂いております。

これらの結果、契約件数は69.6万件（前年同期比6.1%増）、売上高は6,807百万円（前年同期比12.1%増）となっております。

3) EC支援事業

当該事業では、ネットショップ事業者やネットショップ利用者に便利に利用して頂けるよう機能の拡充、サポート体制の強化に継続して取り組んでおります。EC市場の拡大とともに、順調に顧客基盤を拡大しており、契約件数は6.7万件（前年同期比14.4%増）となりました。これらの結果、売上高は1,595百万円（前年同期比26.5%増）となっております。

4) セキュリティ事業

当該事業では、シェア拡大のために代理店を通じた拡販戦略を継続しており、前連結会計年度に国内SSLサーバー証明書の純増数1位、ルート認証局のシェア1位を獲得いたしております。当第2四半期連結累計期間においてはネット選挙解禁に向け、「なりすまし」防止のための電子証明書を全政党向けに寄付することを発表いたしました。短期的な業績への影響は軽微であるものの、中長期的なブランド価値の向上を期待しております。これらの結果、売上高は1,275百万円（前年同期比32.8%増）となっております。

5) 決済事業

当該事業では、GMOペイメントゲートウェイが決済専業で唯一の東証一部上場企業というブランド力を活かし、事業展開を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、顧客基盤（加盟店数）および流通額（決済処理件数・決済処理金額）の増大に努め、集客支援サービスによる加盟店の売上向上などに取り組んでまいりました。これらの結果、売上高は2,809百万円（前年同期比23.7%増）となっております。

以上、各事業におけるストック収益の積み上げに加え、商材間のシナジーもあり、これらを含めたWEBインフラ・EC事業セグメントの売上高は18,488百万円（前年同期比29.0%増）、営業利益は2,645百万円（同24.5%増）と大きく伸ばいたしました。

② インターネットメディア事業

当該セグメントにおいては、ネットビジネスを手掛けるお客様の集客支援サービスを提供しております。Yahoo!・Googleといった検索エンジンを通じた集客の効率化を図る「検索関連」、ネット広告を提供する「広告代理」、また、自社メディアの運営などをしております。当該セグメントの各事業別の業

績は下記のとおりです。

1) インターネットメディア・検索関連事業

当該事業では、スマートフォン向けのリワード広告などに取り組んでまいりました。これらの結果、売上高は5,047百万円（前年同期比3.2%増）となっております。

2) 広告代理事業

当該事業では、GMOアドパートナーズを中核として、メディアレップとエージェンシー機能を有する総合的なサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間においてもPC・スマートフォンともにリスティング広告が引き続き好調に推移いたしました。また、粗利率向上のため、自社アドネットワーク商品の強化、アドテクノロジーの開発に努めてまいりました。これらの結果、売上高は9,101百万円（前年同期比24.2%増）と大きく伸ばいたしました。

以上、これらを含めたインターネットメディア事業セグメントの売上高は15,093百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は1,253百万円（同13.3%増）となりました。

③ インターネット証券事業

当該セグメントにおいては、顧客基盤（取引口座数・預り資産）および取引高の拡大に努めております。この点、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの取引口座数は証券口座が18.0万口座（GMOクリック証券）、FX取引口座数が43.8万口座（GMOクリック証券30.1万口座、FXプライム13.7万口座）と順調に拡大しております。また、取引高については金融緩和期待もあり、GMOクリック証券の6月月次取引高が100兆円を超えるなど、大きく伸ばしております。

しかしながら、急増した取引高の約8割がナロースプレッド通貨であるドル円であるため、収益の伸びが限定的なものになっていることに加え、超短期取引の増加、急激な円安進行に伴うカバー取引コストの増大により取引高あたりの収益性が低下しており、利益面では前年を下回っております。この点、スプレッド変更などの施策により、取引の正常化、収益構造の改善を図ってまいります。なお、前四半期において営業赤字であったFXプライムは黒字に転換しております。

以上、インターネット証券事業セグメントの売上高は11,214百万円（前年同期比35.9%増）、営業利益は2,424百万円（同9.6%減）となりました。

④ ソーシャル・スマートフォン関連事業

当該セグメントにおいては、急成長しているスマートフォン市場など新しい分野へ取り組んでおります。当該セグメントの主な事業別の状況は下記のとおりです。

1) スマートフォンゲーム事業

当該事業では、スマートフォン向けのゲームを展開しており、アプリの開発・運用及びスマートフォン向けのゲームアプリマーケット『Gゲー』の運営を行なっております。モバイルゲーム市場は、GooglePlay・AppStoreを始めとしたアプリ市場を中心に大きく成長しております。当第2四半期連結累計期間においては、複数の内製タイトルがGooglePlay売上ランキング上位に定着し、そのなかでも「幻想のミネルバナイツ」は月商が1億円を突破するなど、お客様の支持を得ております。また、6月下旬には新規タイトル「スマサカbyGMO」を投入いたしました。これらの結果、5月には単月黒字を達成し、売上高は2,095百万円（前年同期比290.6%増）、営業損失は572百万円（前年同期は849百万円の営業損失）となっております。

これらを含めたソーシャル・スマートフォン関連事業セグメントの売上高は2,885百万円（前年同期

比113.4%増)と急伸しているものの、営業損失は573百万円(前年同期は956百万円の営業損失)にとどまっております。しかし、四半期損益は、対前四半期比で230百万円改善しており、引き続き早期の黒字化に向けて特にスマートフォンゲーム事業に注力してまいります。

⑤ インキュベーション事業

当該セグメントにおいては、キャピタルゲインを目的としたインターネット関連企業への投資、事業拡大への支援、企業価値向上支援を行っております。当第2四半期連結累計期間は、保有株式の売却等により、売上高は83百万円(前年同期比101.1%増)、営業利益は9百万円(前年同期は53百万円の営業損失)となりました。

(参考1)

四半期ごとの経営成績および財政状態の推移

(単位：百万円)

	2012 2Q	2012 3Q	2012 4Q	2013 1Q	2013 2Q
売上高	18,005	18,091	20,319	22,810	23,873
営業利益	2,486	1,572	2,564	2,894	2,971
経常利益	2,481	1,582	2,611	2,859	3,022
当期純利益	996	817	1,808	1,102	1,293
総資産	224,121	256,677	275,960	364,089	363,002
自己資本	19,287	19,690	21,071	21,451	22,802

(参考2)

セグメント・事業別四半期業績推移

I セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2012 2Q	2012 3Q	2012 4Q	2013 1Q	2013 2Q
WEBインフラ・EC事業					
アクセス事業	439	502	656	827	1,112
ドメイン取得事業	1,081	1,043	942	1,138	1,184
レンタルサーバー事業	3,123	3,186	3,327	3,342	3,465
EC支援事業	607	676	761	845	749
セキュリティ事業	487	511	504	616	658
決済事業	1,139	1,271	1,281	1,382	1,426
その他	432	590	629	898	838
合計	7,311	7,783	8,102	9,051	9,436
インターネットメディア事業					
インターネットメディア・検索関連事業	2,464	2,459	2,347	2,514	2,532
広告代理事業	3,581	3,854	3,673	4,491	4,610
その他	349	347	469	482	462
合計	6,396	6,662	6,490	7,488	7,604
インターネット証券事業					
合計	4,125	3,436	4,837	5,528	5,685
ソーシャル・スマートフォン関連事業					
スマートフォンゲーム事業	246	267	435	863	1,231
くまポン事業	428	421	383	397	392
合計	675	689	818	1,261	1,624
インキュベーション事業					
合計	1	36	525	41	42
小計	18,510	18,608	20,775	23,371	24,393
調整額	△505	△516	△456	△560	△520
売上高	18,005	18,091	20,319	22,810	23,873

II セグメント別営業利益

	2012 2Q	2012 3Q	2012 4Q	2013 1Q	2013 2Q
WEBインフラ・EC事業	1,143	1,103	1,026	1,318	1,327
インターネットメディア事業	473	455	464	659	593
インターネット証券事業	1,372	584	1,174	1,253	1,170
ソーシャル・スマートフォン関連事業					
スマートフォンゲーム事業	△484	△574	△600	△402	△170
くまポン事業	△44	△4	5	0	△1
合計	△529	△578	△595	△402	△171
インキュベーション事業	△27	△27	448	6	3
小計	2,432	1,538	2,518	2,835	2,923
調整額	54	33	45	58	47
営業利益	2,486	1,572	2,564	2,894	2,971

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

(資産)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年6月30日)における資産合計は、前連結会計年度末(平成24年12月31日)に比べ87,041百万円増加し、363,002百万円(31.5%増)となっております。主たる変動要因は、顧客資産の増加により証券業における諸資産(証券業における預託金・証券業における信用取引資産・証券業における短期差入保証金・証券業における支払差金勘定)が84,251百万円増加したことです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ84,417百万円増加し、329,959百万円(34.4%増)となっております。主たる変動要因は、有利子負債が1,868百万円減少した一方、顧客資産の増加により証券業における諸負債(証券業における預り金・証券業における信用取引負債・証券業における受入保証金・証券業における受取差金勘定)が85,992百万円増加したことです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,623百万円増加し、33,042百万円(8.6%増)となっております。主たる変動要因は利益剰余金が1,229百万円増加したこと(当期純利益の計上により2,396百万円の増加、配当金の支払により824百万円の減少など)、上場グループ会社の業績が伸長したことにより少数株主持分が893百万円増加したことです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間末(平成25年6月30日)における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末(平成24年12月31日)に比べ853百万円増加し、42,753百万円となっております。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては6,437百万円の資金流入となりました(前年同期は8,461百万円の資金流入)。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上により5,218百万円、減価償却費の計上により2,087百万円、証券業における諸資産の減少(証券業における預託金の増加による資金流出、証券業における差入保証金の増加による資金流出、証券業における支払差金勘定の増加による資金流出、証券業における預り金及び受入保証金の増加による資金流入)により6,468百万円の資金流入額があった一方、法人税等の支払により1,521百万円の資金流出額があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては1,866百万円の資金流出となりました(前年同期は2,064百万円の資金流出)。これは主に、サーバーなど有形固定資産の取得により714百万円、ソフトウェアのライセンス更新など無形固定資産の取得により606百万円、投資有価証券の取得・売却により383百万円の資金流出額があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては3,908百万円の資金流出となりました(前年同期は4,016百万円の資金流出)。これは主に、短期借入金の純減により100百万円、長期借入金の純減により1,769百万円、配当金の支払により824百万円の資金流出額があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成25年2月6日公表の「平成24年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,718	46,509
受取手形及び売掛金	6,435	7,727
営業投資有価証券	661	793
証券業における預託金	122,914	167,252
証券業における信用取引資産	41,060	72,840
証券業における短期差入保証金	17,824	23,189
証券業における支払差金勘定	10,188	12,957
繰延税金資産	1,816	2,072
その他	8,259	8,626
貸倒引当金	△429	△608
流動資産合計	254,450	341,360
固定資産		
有形固定資産	7,246	7,492
無形固定資産		
のれん	3,551	3,386
ソフトウェア	3,761	3,513
その他	507	599
無形固定資産合計	7,821	7,498
投資その他の資産		
投資有価証券	1,533	2,295
繰延税金資産	3,163	2,425
その他	2,100	2,271
貸倒引当金	△355	△342
投資その他の資産合計	6,441	6,650
固定資産合計	21,510	21,642
資産合計	275,960	363,002
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,283	2,726
短期借入金	8,792	6,847
未払金	6,141	6,258
証券業における預り金	11,245	20,059
証券業における信用取引負債	35,702	62,754
証券業における受入保証金	136,616	186,894
証券業における受取差金勘定	4,018	3,868
未払法人税等	1,470	1,321
賞与引当金	336	206
役員賞与引当金	219	96
前受金	3,479	3,778
預り金	13,118	12,587
その他	4,506	4,724
流動負債合計	227,932	312,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
固定負債		
長期借入金	12,401	12,478
繰延税金負債	25	28
その他	4,354	4,160
固定負債合計	16,781	16,667
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	828	1,169
特別法上の準備金合計	828	1,169
負債合計	245,542	329,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	100
資本剰余金	5,836	8,736
利益剰余金	12,509	13,738
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,344	22,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△199	119
繰延ヘッジ損益	△52	△27
為替換算調整勘定	△21	137
その他の包括利益累計額合計	△273	228
新株予約権	22	21
少数株主持分	9,323	10,217
純資産合計	30,418	33,042
負債純資産合計	275,960	363,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	35,965	46,683
売上原価	14,721	19,918
売上総利益	21,243	26,764
販売費及び一般管理費	16,231	20,899
営業利益	5,011	5,865
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	16	19
為替差益	3	59
ポイント失効益	50	43
持分法による投資利益	8	48
その他	95	83
営業外収益合計	179	259
営業外費用		
支払利息	153	173
その他	55	70
営業外費用合計	209	243
経常利益	4,981	5,881
特別利益		
投資有価証券売却益	0	16
関係会社株式売却益	150	—
持分変動利益	6	7
その他	2	1
特別利益合計	159	25
特別損失		
固定資産除却損	89	25
減損損失	21	250
事務所移転費用	76	47
金融商品取引責任準備金繰入額	101	341
その他	38	23
特別損失合計	327	688
税金等調整前四半期純利益	4,813	5,218
法人税、住民税及び事業税	1,639	1,515
法人税等調整額	526	464
法人税等合計	2,165	1,980
少数株主損益調整前四半期純利益	2,648	3,238
少数株主利益	755	841
四半期純利益	1,892	2,396

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,648	3,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	346
繰延ヘッジ損益	△58	24
為替換算調整勘定	△7	237
その他の包括利益合計	△119	609
四半期包括利益	2,528	3,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,761	2,898
少数株主に係る四半期包括利益	767	948

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,813	5,218
減価償却費	1,333	2,087
減損損失	21	250
のれん償却額	643	703
投資有価証券売却損益(△は益)	12	△16
関係会社株式売却損益(△は益)	△150	—
受取利息及び受取配当金	△21	△25
支払利息	153	173
売上債権の増減額(△は増加)	△76	△953
仕入債務の増減額(△は減少)	△76	593
証券業における預託金の増減額(△は増加)	△16,596	△44,337
証券業における差入保証金の増減額(△は増加)	4,202	△5,365
証券業における支払差金勘定及び受取差金勘定の増減額	154	△2,918
証券業における預り金及び受入保証金の増減額(△は減少)	14,094	59,090
預り金の増減額(△は減少)	△623	△531
その他	1,371	△5,866
小計	9,256	8,101
利息及び配当金の受取額	41	27
利息の支払額	△153	△170
法人税等の支払額	△681	△1,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,461	6,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△789	△714
無形固定資産の取得による支出	△855	△606
投資有価証券の取得による支出	△104	△434
投資有価証券の売却による収入	22	51
関係会社株式の取得による支出	△52	△260
関係会社株式の売却による収入	157	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△93	—
その他	△348	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,064	△1,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	28,900	68,400
短期借入金の返済による支出	△29,925	△68,500
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,298	△3,769
配当金の支払額	△936	△824
少数株主への配当金の支払額	△317	△514
その他	△438	△700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,016	△3,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	192
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,382	853
現金及び現金同等物の期首残高	32,743	41,899
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	36	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,161	42,753

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	WEBイン フラ・EC 事業	インター ネットメ ディア事 業	インター ネット証 券事業	ソーシャ ル・スマ ートフォ ン関連事 業	インキュ ベーション 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,094	12,229	8,251	1,348	41	35,965	—	35,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	232	696	—	3	—	933	△933	—
計	14,327	12,925	8,251	1,351	41	36,898	△933	35,965
セグメント利益又は 損失(△)	2,124	1,106	2,681	△956	△53	4,902	109	5,011

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額109百万円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	WEBイン フラ・EC 事業	インター ネットメ ディア事 業	インター ネット証 券事業	ソーシャ ル・スマ ートフォ ン関連事 業	インキュ ベーション 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,153	14,347	11,214	2,883	83	46,683	—	46,683
セグメント間の内部 売上高又は振替高	334	745	—	1	—	1,081	△1,081	—
計	18,488	15,093	11,214	2,885	83	47,764	△1,081	46,683
セグメント利益又は 損失(△)	2,645	1,253	2,424	△573	9	5,759	106	5,865

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額106百万円は、セグメント間内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャル・スマートフォン関連事業」、「インターネット証券事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において、「ソーシャル・スマートフォン関連事業」194百万円、「インターネット証券事業」44百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年2月18日開催の取締役会において、平成25年3月24日開催の第22回定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決され、平成25年4月30日付でその効力が発生しております。これにより資本金が2,900百万円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。